

## 平成 29 年度 第 1 回飛騨市子ども・子育て会議 会議録

日時 平成 30 年 1 月 23 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 30

場所 ハートピア古川 2 階 ボランティアルーム

〈次第〉

1. 委嘱状の交付
2. 開会あいさつ
3. 協議事項
  - ・「飛騨市子ども・子育て支援計画（平成 27 年 3 月策定）」進捗状況報告
  - ・「飛騨市子ども・子育て支援計画（平成 27 年 3 月策定）」中間年の見直しについて
  - ・平成 29 年度実施「ひとり親家庭実態調査結果」について
4. その他
5. 閉会

### ・開式

野村課長：只今から、「平成 29 年度第 1 回飛騨市子ども・子育て会議」を開催します。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席いただきありがとうございます。

まず、冒頭に委嘱状を交付させていただきたいと思いますが、その前に、本会議についてご説明させていただきます。

既に昨年より委員としてお願いさせていただいております方はご存知のことと思いますが、この子ども・子育て会議は、平成 24 年に施行されました「子ども・子育て支援法」に基づき、平成 25 年 10 月に設置された会議でございます。経緯については後でお話ししますが、飛騨市の子育て関係機関の中では、最高の決議機関であるということです。

皆様にお渡ししている「飛騨市子ども・子育て支援事業計画」は、本会議の審議を経て平成 27 年 1 月に策定されたものでございます。計画期間は、平成 27 年から平成 31 年まで、5 ヶ年です

さて、会議の所掌事務は、飛騨市子ども子育て会議条例第 2 条により「法第 77 条第 1 項各号に掲げる事務」ということです。お手元にお配りいたしました資料（条例）の裏面に子ども子育て支援法第 77 条を抜粋しておりますとおり、保育施設・事業等の利用定員の設定や、施策の調査審議をいただくことになっておりますが、特に本年度 29 年度は、中間見直しの年ということで、目標数値の変更もございますので、ご審議のほどよろしくお願ひしたいと思います。

本会議の構成員はお手元に名簿がありますが、今ほどの条例第 3 条の関係者となっております。

ただ今から、皆さんに委員の委嘱をさせていただきますが、任期が 12 月から 2

年間であり、皆さんの任期とあわない場合があると思います。3月で退任される方、1月から委員に着任された方、それぞれだと思いますが、そういった中途半端な時期で申し訳なくと思いますが、任期は2年となっています。それぞれ、任期途中でご退任の場合は、次の委員の方が、自動的に在任期間に移ることとなっています。

なお、本会議は公開となっています。議事録を HP に公開させていただきますので、よろしくお願いします。

また、傍聴人は1名おみえになっています。傍聴人は、議事を妨げないよう、ご協力をお願いします。質問があれば後でお願いします。

## 1. 委嘱状の交付

野村課長：委嘱状の交付をさせていただきます。お名前をお呼びいたしますので、自席でご起立していただきますようお願いいたします。

(順次、柚原部長より交付)

## 2. 開会あいさつ

野村課長：会議に先立ち、柚原市民部長がごあいさつ申し上げます。

柚原部長：皆さんこんにちは。今日は忙しい中、飛騨市子ども子育て会議にご出席いただきましてありがとうございます。

また今ほどは、委嘱状を交付させていただきました。皆さん2年間よろしくお願いします。

子ども子育て環境につきましては、市のもっとも重要な政策として進めているところです。市民福祉部では、介護、医療などに従事する職員が少ないということで、色々な政策をしているところですが、商工関係においても人手不足と言われていています。人口が減って、働く方が減っている状況ではありますが、雇用を維持していくことを考えると、特に女性の働く環境を整えていくことが大事なこととされています。

先だって訪問介護ステーションの管理者の方とお話ししましたが、職場復帰は子育て環境の充実に尽きるといわれました。市としても子育て環境を整え、応援していきたいと考えています。

この会議は、これから市で取り組もうとする計画にご意見をお伺いするものです。今は1月ですので、お伺いしたご意見を当初予算に盛り込むことは難しいですが、6月、9月の補正などの機会がありますので、子育てに対するアイデアなどありましたら今後盛り込んでいきたいと思っています。

ハートピアにお越しの折には、こういうことは、どうなんだろうとかの意見や、アドバイスをいただければと思います。

私どもからの説明する場面が多い会議になろうと思いますが、分らない事は質問していただき、普段思っていることを教えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### ・会長、副会長の選任について

野村課長：それでは委員のご紹介は、名簿でご確認いただきたく省略させていただきます。

会議の成立についてご報告させていただきます。委員総数 15 名中 13 名のご出席をいただきました。過半数以上の方の出席がありましたので、条例第 6 条の規程により本会議が成立したことをご報告します。

委員の選出条例 5 条により互選により決定するとあります。どなたかご意見はありますか。

岩佐委員：事務局で案がありましたら、お願いします。

野村課長：ただいま、事務局案という声がありましたので、事務局案を提案させていただきます。会長に飛騨市教育委員の田口様、副会長に保育園長代表の埜籐園長にお願いしたいと思います、いかがでしょうか。

委員：異議なし

野村課長：ありがとうございます。異議なしの声をいただきましたので、会長に飛騨市教育委員の田口様、副会長に、保育園長代表の埜籐園長、よろしくお願いします（田口会長、埜籐副会長それぞれあいさつ）

#### ・子ども・子育て会議の経緯のこれまで

田口会長：それでは議事の進行に入りたいと思います。子ども・子育て会議のこれまでの経緯について、事務局から説明をお願いします。

小林係長：資料にありますとおり、この子ども・子育て会議は、平成 25 年度のニーズ調査を経て、26 年度の 27 年 3 月に「子ども・子育て支援計画」を策定しました。以降毎年、子ども・子育て支援関連施策の展開にかかる進捗状況を、ヒアリングシートにてご報告しています。

すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために、すべての家庭が安心して子育てができ、育てる喜びを感じられるよう取組を進めています。

### 3. 協議事項

#### ・「飛騨市子ども・子育て支援計画（平成 27 年 3 月策定）」進捗状況報告

田口会長：続きまして、子ども子育て進捗状況について、事務局から説明を求めます。

事務局：（渡辺係長、清水保健師、小林係長 ヒアリングシートにて説明）

田口会長：ただ今の事務局からの報告にご質問、意見はありませんか。

岩佐委員：未満児保育についてはそのとおりだと思います。社会進出をしたい人もあるが、

家庭の事情で（未満児保育を）せざるを得ない家庭もあると思います。未満児保育は、申請があるまで分からないもので、一度入ってしまえば、来年は何人と分かるが、とらえづらいたは思います。しっかりニーズを調査すること、ある程度余裕を持って弾力的にあたる必要があると思います。

林田委員：木育ひろばについて、対象は未満児になっていますね。たとえば出張みたいに保育園を回っていただき、木育ひろばを開催してもらいたいです。保育園の遊戯室で木のおもちゃで遊べれば、保育園児もうれしいと思います。

小林係長：そういったことも考えて行きたい。幼児学級で取り組まれたところもありました。保育園児ならではの木育へのかかわりもあると思います。

林田委員：幼児学級の保護者会では、費用がかかるので、できれば市のほうでしてもらいたいと思います。

竹林委員：保育士について、真剣に考えていかなければいけない。保育士の確保ができないと、事業が進まない。保育士確保に、何か考えていることがありますか。

柚原部長：医療のほうで、基金を設けていて、看護師へ30万円の支援があります。市内の病院へ勤めていただければ、返還の必要がありませんという制度です。もともとは、市民病院で作った制度です。市民保健課へ所管が移り、その制度を、看護師だけでなく、介護職にも広げていく予定にしていたのですが、医療福祉職として、保育士も入れようと協議しています。IターンUターンもうながしていきたいと思っています。市長からも、色々な手を打つよう言われています。

#### ・「飛騨市子ども・子育て支援計画（平成27年3月策定）」中間年の見直しについて

田口会長：飛騨市子ども子育て計画の中間年度の見直しについて、事務局の説明をお願いします

渡辺係長：（資料に基づき説明）

田口会長：今ほどの説明に意見がありませんか。意見がなければ採決をお願いします。承認される方は、挙手をお願いします。

委員：（挙手）

田口会長：全員挙手されましたので、申請内容のとおり承認されました。

#### ・平成29年度実施「ひとり親家庭実態調査結果」について

田口会長：続きまして、平成29年度に実施されました、ひとり親家庭実態調査について、事務局から説明をお願いします。

野村課長：（ひとり親家庭実態調査結果概要について説明）

田口会長：何か意見はありますか。

岩佐委員：私は民生委員をしていて、家庭で養育できない子どもさんを里親として預かることがあります。私自身の年齢を考えると、親の年齢に近い人や、子どもさ

んの同じ学区の人に、里親になってもらえればと思います。

不登校でも、色々なケースがあります。虐待や、疑いであっても、関係機関へ伝えて欲しい。対応が早ければ早いほど、結果としてよくなる。

田口会長：その他よろしいでしょうか。事務局から何かあればお願いします。

野村課長：今後の予定ですが、来年度ニーズ調査を行い、平成でいえば 32 年から 37 年の第 2 期の計画を策定するのでご承知おきください。

本日予定していました協議事項は以上です。ここで飛騨県事務所福祉課の岩村課長から、一言お願いします。

岩村課長：私は、現場から一番遠い立場にあり、みなさんのが詳しいと思いますが、飛騨市ではいろいろアイデアを出しながら事業にあたられています。女性の社会進出がすすみ、未満児保育、病児保育が必要となっています。本来であれば、休んで保育にあたればいいと思いますがそうは言っていない状況です。

また、3市1村で考えていきたい事例についてはご相談ください。

田口会長：それでは、閉会に移らせていただきます。

桒籐副会長：本日は、中間年の見直しなど、熱心にご協議いただきありがとうございました。こうやって、支援計画を見直すことによって、より良いものとなっていくと思います。みなさんありがとうございました。心より感謝します。

それでは、これをもちまして、平成 29 年第 1 回子ども・子育て会議を閉会します。